



No 2742

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

有田

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

テーマ



奉仕の理想車を走らせよう!!

Let's drive your ideal car of the service!!

本日のプログラム

平成27年7月9日 第2743回

- ・委員会活動計画の発表
- ・ソング：「我らの生業」

次回のお知らせ

平成27年7月16日 第2744回

- ・委員会活動計画の発表
- 決算・予算の審議 100%出席者表彰
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2742例会）

開催日 平成27年7月2日(木)

点鐘 (中元会長)

ゲスト・ビジターの紹介 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

ゲスト:有田南ロータリークラブ

赤田 修己 会長・田甫 治 幹事

有田2000ロータリークラブ

前任会長・寺村 公博 幹事

和歌山特報社 様 有田タイムス 様

ビジター:ポンピパック ダーラーさん(米山奨学生)

新旧会長・幹事バッジ引継



上野山(英)直前会長より中元会長へ会長バッジを引き継ぎました。

松村直前幹事より上野山(栄)幹事へ幹事バッジを引き継ぎました。



新会員入会式

新会員

井上 修平 君

(1965年12月30日 生)

(水産練物製品製造業)



<上野山(栄)幹事より井上修平さんの紹介>

新しく入会されました井上修平さんをご紹介します。

宮崎町にある水産加工業の有限会社 天乙商店の代表取締役です。箕島高校をご卒業され19歳から家業に入りました。家業に入ってから2次産業であった水産加工業から、その領域を広げ3次産業に着手し、直営店を和歌山市内に持つなど有名デパートへの出店を手がけ、中国台北のSOGOなど国内にとらわれず営業エリアを伸ばしています。彼の経営ビジョンは時流を先読みしてきました。

私は他の会や共通の友人がいたりして彼の活躍を拝見していました。ご承知の通り、お父様は有田ロータリークラブの会員で本年13回忌を迎えましたが、彼の中ではお父様の有田ロータリークラブへの思いが受けつがれており、今回の入会もお父様がロータリアンであったことが大きな理由です。昭和40年生まれの50歳、脂がのりきった食べ頃の天乙のてんぷらのようです。実はピリ辛ゴボウのようにスパイスが効いた辛口な部分もあります。きっと、これからの有田ロータリークラブを背負ってくれる一員だと考えています。

また、お子様方も23歳の長女さま、大学4年生の次女さま、立命館大学2回生の長男さまと上手に子育ても順調ですので、ロータリーライフにも専念できることでしょう。

まずは会員皆さんと親睦を図り、ロータリー理念と大人の魅力を吸収しましょう。ご商売にも役立つはずです。ゆっくりと一緒にロータリーを楽しんでいきましょう。本日のご入会、おめでとうございます。

<会長歓迎の言葉・ロータリーバッジの装着>

この度有田ロータリークラブにめでたく入会されました「井上修平君」をご紹介します。



井上君は有田市宮崎町に本社をおく天乙商店の代表取締役をなさっています。また、同社は和歌山市にも支店を持ちますが、てんぷら、かまぼこなどの製造販売の技術が非常に優れていて、その商品は大手百貨店で販売されたり、本店には観光バスが立ち寄るほどの超人気有名店でもあります。

また、井上君のお父様も当クラブの会員でいらしゃったことは皆さんもご存じのことと思います。そして、井上君のお嬢様と私の長女とは、近畿大学高等部の同級生でもあります。いろんなご縁で今回の入会の運びとなりました。

有田ロータリークラブは井上君の入会を熱烈歓迎しています。どうかロータリーライフを存分に楽しんで頂き、素晴らしい活動をなさってくれるものと期待しております。

甚だ簡単ではございますが、新入会員の紹介と歓迎の挨拶に代えさせていただきます。

これは私にとってかけがえのない経験で、現在の私があるのも上野山さんのおかげです。

その上野山さんが2度目の会長を引き受けた時はほんとうに「さすがだなあ」と思いました。今から考えれば上野山会長の就任は有田ロータリークラブにとっても2640地区にとってもまことにタイムリーなものでした。停滞していたロータリーに活を入れてくれました。そして、上野山会長のクラブターゲットは「ロータリー理念の探求」でした。これにより有田ロータリークラブを奮い立たせてくれました。

児島指名委員長に先見の明がありました。上野山さんが会長でなかったら、これだけ地区で活躍する機会がなかったし、今がないのかもしれない。上野山さんが会長であったからこそ地区決議会の開催に力を発揮できたのですし、さらに地区決議会の議長ができたのだと思います。まさに上野山会長の真骨頂でありました。

そんな会長の下で幹事を務めることができた松村さんは本当に幸せです。私が代わって欲しいぐらいでした。今は「やれやれ」と言うのが実感だと思いますが、近い将来会長になった時に、この経験が大いに役立つでしょう。

個々の事業をあれこれ言う必要はあえてないと思います。結果を見ていただければ上野山年度の残した業績は誰もが認めるものです。ほんとうにありがとうございました。皆様、心からの拍手をお願いします。

米山奨学金授与



中元会長より米山奨学生のダーラーさんへ奨学金が授与されました。

記念品授与



中元会長より、上野山(英)直前会長、松村直前幹事へ記念品が贈られました。

会長就任挨拶・運営方針発表

会長 中元 耕一郎 君

クラブターゲット 「奉仕の理想車を走らせよう!!」

Let's drive your ideal car of the service!!

謝 辞

(應地正章君)

上野山さん、松村さん、1年間ありがとうございました。私がロータリーの師として仰ぐ上野山さんの謝辞を言う機会を得られたことを大変名誉なことと思っています。成川ガバナ一年度の地区代表幹事を務められた上野山さんの元で幹事補佐として1年間ご指導を受け、ロータリーの楽しさや難しさを勉強させていただきました。



本日、有田ロータリークラブ2015年度の初例会を開催しましたところ、有田南ロータリークラブ、赤田修己(あかた おさみ)会長、田甫 治(たんぼ おさむ)幹事、有田2000ロータリークラブからは、前任(まえ つとむ)会長、寺村公博(てらむら きみひろ)幹事、そして、和歌山特報社様、有田タイムス社様のご出席を賜り誠に有難うございます。

昨年度、上野山英樹直前会長には二度目の会長の大役を急遽お引き受け下さったにもかかわらず、安定したクラブ運営および混乱した地区への献身的な対応を続けて下さったことに心より敬意を表します。上野山英樹直

前会長の大車輪の働きのおかげで、混迷を極めた地区にようやく明るい兆しが感じとれるようになってきました。本当に有難うございます。心より御礼申し上げます。

さて、当クラブの歴史を紐解けば、国際奉仕活動だけをみてもネパール岩村記念病院の建設に始まり、インドムンバイのポリオワクチンの一斉投与の参加、37年間にもわたる米国カリフォルニア・デレノロータリークラブとの青少年交換留学プログラム等々と、日本でも有数の活発なクラブでありました。また、青少年奉仕活動では「ケナフによる紙づくり」、ローターアクトの設立とその支援、有田市内中学生全員を対象にした演劇会「中将姫物語」を50周年記念事業として実施しています。まだまだ、今年度会長クラブ運営方針の限られた時間内ではお伝えできないほど数多くの実績があり、歴史と伝統のあるクラブの会長を拝命し、これほどの荣誉なことはないと考えているしだいであります。また、同時に、これほどの歴史と伝統のあるクラブを未熟者の私のはたして引き継ぐことができるのか、不安でいっぱいでもあります。今後の1年間、上野山栄作幹事と二人で力を合わせて頑張っていきたいと思っておりますので、会員の皆様方のご指導とご協力をお願いしたいと存じます。

私が入会させていただいた2010年以降の5年間においても、「さくらんぼ」への障害者支援事業や、「こどもミュージアム」でのこどもとの触合い、「英語で話そう」での中学生と世界からの留学生との異文化交流、「未来の仕事を学ぼう」では当クラブロータリアンの中学校出前授業等々、すばらしいプロジェクトの実施がありました。また、毎週の例会においても会員卓話、外部卓話が充実しており、またロータリーカレッジでの勉強会、クラブフォーラムにおける討論会などが毎年必ず行われ、まさしくロータリーをしっかりと実践してきたクラブであることを認識することができます。この高水準のロータリーの実践こそが、われわれ有田ロータリークラブの伝統でありDNAではないでしょうか。わたしはこのすばらしい遺伝子を受継ぐ義務があり、またそのこと自体を誇りに思っています。

今年度のクラブ運営方針として、クラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会・青少年奉仕委員会、国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山奨学委員会と、全ての委員会活動を積極的に行っていく所存であります。なぜなら、この積極的なロータリーの実践こそが有田ロータリークラブの先輩たちから脈々と受け継いできた伝統であり、DNAであるからであります。わたしは、これを大切にしたいと思っています。

私がロータリーに入会させてもらって、一番感動し、大きかったことは、幸せの意味を教えてもらったことです。私は医者になってから、自分にとっての幸せとは何だろうか時々考えるようになりました。何故かと言うと、医者になりたての研修医時代は、医者にとっては修行時代で、それこそ昼も夜もない状態で馬車馬のように働いていました。先輩ドクターについて、診察や手術のお手伝いをしたり、夜中は当直で急患を見たりで休む暇もなく働いた記憶があります。あまりの激務でヘトヘトになり、ふと幸せって何だろうと思うようになりました。一種の逃避現象だったのでしょか。

この幸せって何だろうという疑問は、研修医が終わって

からも私に付きまといました。憧れの車が買えたり、欲しかった時計が買えたり、家を建てることができたり、それはそれで満足感があつたのですが、幸せという感覚とは何かが違うのではないかという気がしていました。こちらへんから、幸せとは物欲を満足させるような物質的なものではなく、自分の心の内面を満足させるような精神的なものではないかという気がしてきたのでした。

整形外科医院を開業してからは、お陰さまで、患者さんも多く経営状態も安定していました。開業当初は、患者さんのことを思って頑張っていました。自分の職員に関してはあまり注意を払っていませんでした。患者さんに対して不親切な態度をとったり、ミスをした職員には強い口調で注意したりしました。医師である私と職員の関係ばかりではなく、職員どうしの関係も悪化し医院を辞めていく職員が少なくありませんでした。そんな苦しい時に、應地先生の紹介で有田ロータリークラブに入会することになりました。私自身、ロータリーのことは何をするとところなのか全然わかっていなかったのですが、医師会の先輩命令で有田ロータリークラブに入会させて頂くことになりました。ロータリーに入会し、職業奉仕という概念を知り、思いやりの大切さを勉強しました。苦しい職場の状況を



打開しようと職業奉仕を真剣に勉強しました。これからは、患者さんだけではなく職員に対しても思いやりの心を持って接しようと決意をしました。自分は職員のために働こうと意識しました。その意識の結果、自然と職員に対する私の言葉使いが変化したような気がします。その後は、職員同士のトラブル

もなくなり、患者さんも増え、ストレスもあまりなく仕事に専念できるようになりました。スタッフの一人は、1年間の闘病生活を当院に復帰することを目標に乗り越えられたとも言ってくれました。また、家族に対しても思いやりを持って接しようとしました。その結果、家族からの愛情が何倍にもなって返ってきたことは、本年5月の次期会長のための時間ですでお話しさせてもらいました。

自分が愛情をそそぎ、自分に愛情をかけてくれる家族、自分が友情をそそぎ、自分に友情をかけてくれる友こそ、人生の最高の宝ではないでしょうか。まずは、自分からの思いやりや愛情から幸福が始まるのではないのでしょうか。まずは、自分からの思いやりや友情が人生の大切な宝を生むのではないのでしょうか。Service above self、これこそが幸せの原点ではないのでしょうか。

家族や友人に対しては、もともと情緒的な結び付きが基盤にあるため、比較的容易に思いやりをもった行動をとれます。一方、ロータリーで言う思いやりは、情緒的な基盤や愛着の少ない他人や社会に対しての思いやりもその対象となります。これは、自分の家族や友人とは違って対象が曖昧で不特定の他人や社会に対する思いやりです。このことは、口で言うのは簡単ですが、実際に行うとなると非常に困難であります。何故なら、現在の社会は競争社会だからです。受験、就職、企業間の競争等々、

食うか食われるかの厳しい現実の中に、びとは置かれているからであります。そんなきれいごとが通用するのか？そういう意見が多いと思います。しかし、人間は自分ひとりだけでは生きて行けない存在でもあるのです。衣・食・住だけをとってみても、自分以外のだれか他の人や社会が存在するおかげで生きて行けるのです。もし、自分一人だけが勝ち残って、自分一人だけが生き延びたとしてもそれが幸せといえるのでしょうか。自分を支えてくれる他人や社会を大事にすることが、ひいては自分の幸福に繋がるのであります。このことは、頭ではわかっている、心で理解することがなかなかできませんでした。しかし、毎週の例会に参加し、勉強し、また、奉仕活動にも参加することでようやくこの意味がわかるようになってきました。自分の仕事についても、単に金銭を得る手段とするのではなく、自分が思いやりをもって仕事をすれば、自分の職業を通じて、地域の人々や社会に貢献できる。ロータリーを勉強することでこのことをあらためて自覚することができるようになりました。

Service above self、ロータリーで言う、まずは自分からの思いやりと、その行動を通じて、自分の家族だけではなく、地域の人々や社会にも貢献できる。このことが幸せそのものであると私は思うのであります。

私は、「幸せとは何だろう？」「幸せはどこにあるのだろうか？」と長年探し続けてきました。病気やケガで苦しんでいる人を助けたいと思う心、地域医療に貢献したいという志をもてば、以前から毎日している仕事自体も、それはとても幸せなことをしているのだということに気づきました。こんな身近なところに幸せが存在したことに目から鱗が落ちました。

私は、このロータリーの持つ力、ロータリーの活動の素晴らしさを他の人々にも伝えたいし、人生の大切な宝である友情の輪を広げたいとも思っています。その意味でも、今年度はクラブ奉仕、職業奉仕、社会・青少年奉仕、国際奉仕、米山奨学会、ロータリー財団とすべての奉仕活動を積極的に行う決意を致しました。また、本年度も元気で楽しいクラブ運営をしたいと考えています。内部卓話の充実、家族夜間例会、親睦家族旅行、ゴルフコンペ、その他の親睦活動も積極的に推進します。その中でも会員の増強、米山奨学委員会を含めた国際奉仕活動の2点を特に力を入れたいと考えています。また、当クラブとしては初めてのロータリー財団補助金の活用も行ってみたいと思います。今年度はこれらの奉仕活動をはじめ、すべての奉仕活動に積極的に取り組みたいと思います。

それでは、今年度の各委員会の活動方針を述べさせていただきます。

1、クラブ奉仕委員会

クラブ奉仕委員会には、特に会員増強に力を入れたいと考えています。当クラブの会員数をみますと、1991年には60名以上を有した当クラブの会員数も現在は25名まで減少してしまいました。精鋭25名ではありますが、もっと多様な人材が加わればより豊かなロータリーライフが楽しめると思いますし、より新しい発想が生まれる可能性が高まるとも考えられます。何故、会員数が減少傾向にあるのか、どうすれば有田ロータリークラブに入会したい人が増

えるのかを、まず分析し対策を立て行動に移す必要があります。本年度は新たに特別委員会として、クラブ活性化戦略委員会を立ち上げました。これにより、中・長期的な目標を立て、クラブを活性化するとともに、会員増強にも繋げたいと考えています。

2、職業奉仕委員会

四つのテストやロータリーの行動規範などを例会やロータリーカレッジで勉強したり、ローテーションデー等に参加したりし、職業奉仕に対する理解を深めたいと考えています。これらの活動を通じて会員個人の奉仕の心を磨き、日々の職業に励むことによって、地域社会に貢献して頂きたいと考えます。

3、社会・青少年奉仕委員会およびロータリー財団委員会

例年通り、有田川クリーン作戦の参加、みかん海道の桜木の手入れを行いたいと思っています。また、中村年度に開発された、障害者児童通所事業所「さくらんぼ」への支援プロジェクトも再度実施したいと考えています。そして、その活動資金に、当クラブとしては初めてのロータリー財団地区補助金を充てたいと思います。

青少年奉仕に関しては、友達や仲間思いの心を持つことや、自分たちの住む地域を愛することができる青少年の育成を促す活動をお願いしたいと思います。そして、さらにその活動が国際的な視野をもった人材の輩出につながるプロジェクトを立ち上げて頂ければと思います。当クラブの社会・青少年奉仕活動は、まさに有田ロータリークラブの奉仕活動の核として存在してきました。本年度も、引続き活発な活動を期待します。

4、国際奉仕委員会および米山奨学委員会

本年度は約2週間程度の期間で海外の学生の受入れを行いたいと考えています。海外からの留学生を受入れる際には、ビザの取得から始まり様々な問題が浮上することが予測されます。この国際奉仕活動は会員の皆様のご協力がなければ到底達成できない難しい奉仕活動の一つであります。どうか皆様ご協力のほどお願い致します。また、会員の皆様方のご協力のおかげで、今年度は当クラブが米山奨学生世話クラブになることが決定しました。米山奨学生はラオス出身の女性のポンピバック・ダーラーさんです。現在、和歌山大学の修士課程に在籍しておられます。将来は日本と彼女の母国、ラオスとの懸け橋となる大切な人材でありますから、会員の皆様、どうか多方面から親身なご支援よろしくお願い致します。そして、ポンピバック・ダーラーさんには、当クラブの例会やいろんな奉仕活動に参加していただき、ロータリーの考え方や素晴らしさを伝えて頂きたいと思っています。みなさん、どうかよろしくお祈りします。

皆さん、奉仕の理想車を思い浮かべて下さい。今日初めて、奉仕の理想車と言う言葉をお聞きになる方には、あらかじめそれを書いたプリントをお配りしていますのでそれをご覧ください。この奉仕の理想車の運転手は、もちろんロータリアンです。「Service above self」すなわち「超我の奉仕」を志した人です。まずは、自分からの思いやりを持って、他人や社会に貢献することを第一とする考え方をしています。そして、この車のエンジンであり、アクセルであるのが、「One profits most who serves best」

すなわち「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」であります。まずは、自分から思いやりを持って他人や社会に貢献することを第一とし、それを実践すれば実践するほど、物質的にも、精神的にもより多くの利得が得られるという考え方であります。「四つのテスト」はこの車のブレーキであり、ハンドルの役割を果たします。どの道が正しいのか判断に迷った時には、一旦ブレーキを踏み、この「四つのテスト」を用いてよく考え、正しい道にハンドルを切るのであります。「四つのテスト」はサービスすなわち奉仕の正しい方向性を決定する性質をもっています。また、Four-Way TestのFour-Wayには四つ辻と言う意味もあります。四つ辻に入って、どの道を選ぶか判断に迷った時には、一旦ブレーキを踏み、この四つのテストを用いて正しい道を選択するのであります。もちろん、この車には燃料、すなわちガソリンが必要であります。ガソリンなくして車は進みません。このガソリンは職業奉仕によって得られた報酬であります。サービスすなわち奉仕の理念をもって職業に携わり、他人や社会に貢献することにより、自然発生的に生じた利益であります。この奉仕の理想車を自分の仕事に使えば職業奉仕に、地域社会に車を走らせれば社会奉仕になり、国際社会に車を走らせれば国際奉仕となるのです。この奉仕の理想車を進ませれば進みますほど、このロータリアンの人格はよく磨かれ、正しい考え方を持ったより強い、より幸せな人間になるのであります。

本年度のクラブターゲットは、「奉仕の理想車を走らせよう!!」です。今年度は、会員の皆さん一人一人がドライバーとなって、車にRI会長の「ラビンドラン氏」が言うプレゼントを載せ、あるいは、皆さん自身がプレゼントとなり、全力で奉仕の理想車を走らせようではありませんか。そして、ロータリーの持つ力、ロータリーの活動の素晴らしさを会員以外の人々にも伝え、ロータリーの友情の輪をぜひとも広げようではありませんか。

会員の皆様、本年度の1年間どうかよろしくお願い致します。

幹事就任挨拶

幹事 上野山 栄作 君

伝統ある有田ロータリークラブに入会させていただき、間もなく5年が過ぎようとしています。入会は中元会長と同日でした。そんな中でも中元会長の活躍は著しく、入会3年目にして幹事という大役を果たされ、本年は会長に就任されました。中元さんが幹事時代に「僕が会長の時には是非幹事をお願いしたい」と申されて、力になることを決めていましたが、まさかこのように早い展開で、入会同時期の2人が有田ロータリークラブの運営を担うことになるとは思ってもおりませんでした。このような機会を与えていただき、未熟者ではありますが運営に携わることでロータリーをより深く学ぶことが



できるチャンスと捉え、全力で取り組む所存です。

さて、本年度の会長クラブターゲットからもご理解いただけるように、中元会長のやる気はハンパないものです。しかも、真面目で考えは大堂であります。では、そのような会長の元、私の役目は何なのかと考えますと、幹事という職責から、当会の健全運営のための奉仕の理想車の潤滑油であることは間違いありません。潤滑油の意味は語らずとも理解していただけたと思います。それと出来るならもう一つ、ナビゲーターでありたいと思います。会長が純然たるロータリー魂を基準に運転する車が、進路で悩んだ場合、私がスマホでGoogleった内容に自分の感性を加え、新たな提案ができるような仕事をしたいと考えます。

自己分析をしますと私の強みは革新と協調であります。本年、クラブ活性化戦略委員会も立ち上がりますのでイノベーションの波を起こしたいと考えています。逆に弱みは大雑破であること、このことも理解しつつ執行部や事務局にご迷惑をかけないよう精進してまいります。どうか一年、よろしくお願い致します。

幹事報告

(上野山(栄)幹事)

○地区より

- ・識字率向上運動協賛ご協力のお礼
- ・地区クラブ会長会議、地区合同慰労会のお礼
- ・ネパールへの義援金お礼が届いています
- ・The Rotarianが届く(回覧)
- ・今月のロータリーレート 1ドル=124円

○和歌山県薬物乱用対策推進本部長 仁坂吉伸知事より国連支援募金運動に対する協力の募金箱が届いたので橋本社会青少年奉仕委員長に渡す

有田南RC会長挨拶



有田南
ロータリークラブ
会長
赤田 修己 様
幹事
田甫 治 様

こんにちは。2015-16年度初例会おめでとうございます。中元会長、上野山幹事、ご就任おめでとうございます。私、本年度、有田南ロータリークラブ会長を務めさせて頂く赤田と申します。そして、幹事の田甫でございます。よろしくお願いいたします。

本日は伝統ある有田ロータリークラブの初例会にお招き頂きありがとうございます。有田ロータリークラブさんは、私共の親クラブとして常に有田地区をリードして頂いています。私共のクラブで何か疑問に思うようなことがあると、有田さんならどうされているだろう等、常に目標に、手本にさせて頂いています。

さて、2640地区、今少し騒がしいですが、今こそ、有田

3クラブは良き仲間として仲良く歩んでいかねばならないと思います。有田ロータリークラブさんには、その牽引車としていろいろとご指導をよろしくお願い申し上げます。本日はおめでとうございます。

有田2000RC会長挨拶



有田2000
ロータリークラブ
会長
前任様
幹事
寺村 公博 様

皆様こんにちは。有田ロータリークラブ2015～16年度初例会おめでとうございます。心よりお慶びを申し上げます。本年度、有田2000ロータリークラブの会長を仰せつかった前と幹事の寺村でございます。どうぞよろしくお祈り申し上げます。本日はお招きいただき、誠に有り難うございます。

中元会長、上野山幹事、ご就任おめでとうございます。一年間の長丁場ですので、体調を整えられて、ご活躍なされ有意義なロータリー活動ができますようにお祈りいたしております。

私どもは、創立以来初めて、チャーターメンバー以外の会員で会長・幹事を務めることになりました。どうかスポンサークラブの有田ロータリークラブ皆様の多大なるご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後、益々のご発展、ご活躍を祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

委員会報告

*社会青少年奉仕委員長(橋本委員長)

7月5日(日)有田川クリーン作戦のご出席よろしくお祈りいたします。天候が気になりますが中止の場合はすぐに連絡網で連絡いたします。

出席報告

本日の会員数25名
(出席規定免除会員10名)
出席会員数24名
(出席規定免除会員9名)
100.00%
6/18 90.91%
MU: 應地君

ニコニコ箱の報告

中元君君:新年度がスタートします。上野山栄作幹事と頑張りたいと思います。皆様どうか御協力のほどお願いいたします。井上修平君、ご入会おめでとうございます。上野山(栄)君:本日より幹事として1年間務めてまいります。どうぞよろしくお祈りいたします。有田南RC 赤田会長、田甫幹事、有田2000RC 前会長、寺村幹事、特

報社様、有田タイムス様、ようこそお越しくございました。井上さん、ご入会歓迎します。

有田南RC様:御祝

有田2000RC様:御祝

有田タイムス様:御祝

和歌山特報社様:本日はおめでとうございます。有田のためにがんばりましょう!

上野山(英)君:前年度は皆様のご協力有難うございました。中元会長、上野山(栄)幹事のご活躍をお祈りします。

松村君:中元会長、一年間の健闘をお祈りします。

成川(守)君:中元会長さま、上野山(栄)幹事さま、1年間よろしくお祈り致します。

川村君:新しい中元会長及び上野山栄作幹事の門出を心よりお祝い申し上げます。上野山英樹会長及び松村幹事、一年間の活動有難うございました。

児島君:中元会長、上野山幹事、一年間よろしく。

岩橋君:中元会長、上野山幹事、一年間御苦労さんです。

上野山(捷)君:中元会長、上野山栄作幹事、一年間よろしくお祈り致します。井上修平さん、入会おめでとうございます。

應地君:中元会長、上野山幹事、あと1年です。

岩本君:前会長、幹事様、一年間御苦労様でした。現会長、幹事様、本年、よろしくお祈り申し上げます。

橋爪(誠)君:中元会長、上野山栄作幹事、楽しい一年のスタートですね。フルサポートさせていただきます。奉仕の理想車、安全運転、快適ドライブで!中元様、先日はありがとうございました。

脇村君:中元会長、上野山(栄)幹事、この1年、ご苦労さまです。

嶋田君:初例会の開催、おめでとうございます。

橋本君:初例会、中元新会長、一年間よろしくお祈りします。7/5(日)7:00～有田川クリーン大作戦。皆様よろしくお祈りします。

酒井君:初例会、中元会長よろしくお祈り致します。

宮井君:中元会長はじめ上野山栄作幹事さん、役員の皆様、一年間ご苦労さんです。頑張ってください。

橋爪(正)君:中元会長、上野山幹事、一年間ごくろうさまです。有田南クラブ会長・幹事、有田2000クラブ会長・幹事、どうぞゆっくりとお過ごしください。

井上君:よろしくお祈り致します。

浅井君:中元会長、上野山栄作幹事さん、よろしくお祈りします。上野山英樹前会長、松村前幹事さん、ご苦労様でした。最終例会は議会のため出席できず申し訳ありませんでした。

加藤君:中元会長のもと、本年度もすばらしい活動ができるようご隆盛を祈念致します。

成川(雅)君:よろしくお祈り致します。

石垣君:上野山(英)直前会長、松村直前幹事様、ご苦労様でした。中元会長、上野山(栄)幹事、一年間よろしくお祈りします。

中村君:中元会長、上野山幹事、一年間頑張ってください。井上さん、入会ほんとうにおめでとうございます。

閉会・点鐘 (中元会長)